

安全上の注意事項

ご使用前の注意

警 告

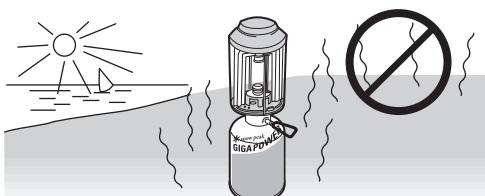
この器具には*snowpeak専用容器(ガスカートリッジ)をご使用ください。その他の容器(ガスカートリッジ)は絶対に使用しないでください。



■ 理由 ■専用以外の容器はバルブ形状、ノズル太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

警 告

夏場など、焼けて熱い砂浜や川原の石の上、あるいは舗装路面上では使用および放置をしないでください。



■ 理由 ■直射日光を受けた砂浜や川原の石あるいは舗装路面上は高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、器具を使用するとガスカートリッジが過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

警 告

この器具は屋外専用です。テントの中や車中、室内では絶対に使用しないでください。



■ 理由 ■この器具は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがあります、また火災の危険もあります。

警 告

ガスカートリッジの装着は器具を垂直に立てた状態で行い、決して締めすぎないでください。

■ 理由 ■新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。カートリッジと器具を接続するネジは大変重要な部分です。過大な力で締めこんだり、斜めにねじ込んだりするとガス漏れの原因になります。

警 告

カートリッジ接続部分のゴム製のOリングはご使用の都度点検し、摩耗や損傷があるときは新品と交換してください。

■ 理由 ■ガスカートリッジの取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくとも劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。

警 告

ガスカートリッジを接続する前には、必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し器具栓が閉じていることを確認してください。

■ 理由 ■収納時や運搬時に器具栓が開いてしまうことがあります。ガスカートリッジ接続の際は器具栓が閉まっていることを確認してください。

注 意

燃えやすい物から上は1.5m以上、周囲は50cm以上離してください。

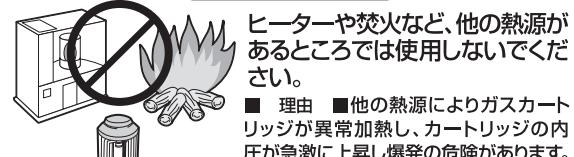
■ 理由 ■風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。



スノーピークガス器具・カートリッジをご使用になるための重要な注意事項が説明されています。よくお読みください。

ご使用中の注意

警 告



ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■ 理由 ■他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、カートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

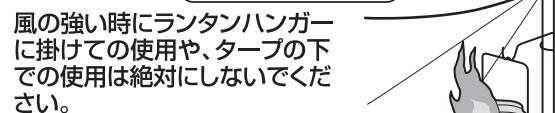
警 告



傾けたまま使用したり、振ったりしないでください。また、ハンガーを持つ場合、高温になりますので素手で作業しないでください。必ず厚手の手袋をお使いください。

■ 理由 ■傾けたり、振ったりすると異常に炎が大きくなることがあります。手に火傷を負つたりする危険があります。絶対に振ったり、傾けたりしないでください。

警 告



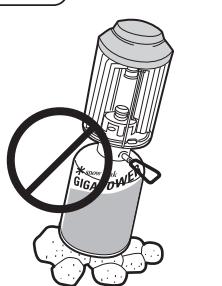
風の強い時にランタンハンガーに掛けての使用や、タープの下での使用は絶対にしないでください。

■ 理由 ■ランタンが落下したり、ゆれて炎が出たり大変危険です。

警 告

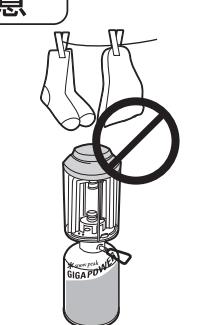
水平で安定した場所でお使いください。

■ 理由 ■傾斜していたり不安定な場所で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。



照明以外の目的に使用しないでください。

■ 理由 ■暖房や衣類の乾燥など、照明以外の使用は火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。



注 意

ご使用後は、器具栓ツマミを時計回転方向(右回転)に最後まで閉めてください。

■ 理由 ■器具栓ツマミを最後まで閉めていないとガスが少量ずつ流れ出て、引火する危険があります。



注 意

ご使用後は、器具栓ツマミを時計回転方向(右回転)に最後まで閉めてください。

■ 理由 ■器具栓ツマミを最後まで閉めていないとガスが少量ずつ流れ出て、引火する危険があります。

保管と廃棄の注意

警 告

長時間器具を使わないときはガスカートリッジを取り外してください。器具は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取り付けて保管してください。

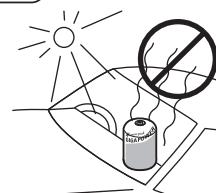


■ 理由 ■器具栓が不用意に開きガスが漏れことがあります。器具並びにガスカートリッジの接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。

警 告

ガスカートリッジは40度以下の場所で保管してください。

■ 理由 ■外気温の上昇とともにガスカートリッジの内圧も上昇します。40度を超えるところや、直射日光の当たるところには保管しないでください。



警 告

空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

■ 理由 ■空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。

警 告

お子様の手の届かないところに保管してください。

■ 理由 ■お子様に危険が及ぶないように、器具やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。



注 意

ガスカートリッジを時々点検してください。

■ 理由 ■時々ガスカートリッジを点検して、もしサビが発見された時は、早めに使い切ってください。



注 意

使用後は点検・清掃をして、器具をケースに入れ保管しましょう。

■ 理由 ■ランタンに付着した水分・ホコリやゴミが目つまりやサビを起し故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしましょう。

その他の注意

警 告

お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

■ 理由 ■器具やカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、販売店または弊社へお問い合わせください。

警 告

ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。

■ 理由 ■法律により、ガスカートリッジを航空機に持ち込むことはできません。

